

令和5年度の上下水道局の取り組み方針

上下水道局事業管理者：青山 弘

上下水道局次長：八橋 徹

上下水道局の役割

上下水道局は主に3つの事業を担っています。

水道事業では、将来にわたり安全な水道水の安定的な供給を、下水道事業では、家庭などから排出された汚水を浄化して安全に海に戻したり、大雨による浸水被害を防ぐための下水道整備を、また工業用水道事業では、地盤沈下対策として地下水のくみ上げができない地域の工場等へ工業用水を供給することを役割としています。

令和5年度の重点目標

局で保有する施設が老朽化しており、健全に将来へ引継ぐための更新や再整備が必要です。また、近年多発する地震や大雨などの災害に強い施設の整備も求められています。

施設の更新等を行うには多額の費用を要しますが、今後も各事業ごとに策定した将来の財政見通しを織り込んだ計画（経営戦略）に沿って安定した事業運営を進めます。

令和5年度は、各事業の経営戦略の中間年に当たるため、改めて今後の水需要の予測を行い、料金収入の動向、施設の更新及び耐震化に必要な費用などを踏まえて、計画の見直しを行います。

市民の皆様へのメッセージ

(青山)

『上下水道の恩恵を将来の世代へつなぐ』

蛇口を捻れば水がでる。使い終わった水は排水溝へ流れる。快適な生活に欠かせないこの”水と衛生”は、紛れもなく先達が築いてくれた上下水道施設の恩恵です。私たちには、その恩恵をただ単に享受するだけでなく、将来の世代へつなぐ責任があります。このことを強く意識して取り組んでまいります。



(八橋)

今年度より上下水道局次長を拝命し、上下水道事業に初めて携わることとなりました。水道水を使う、使った水を流すという日常の当たり前を維持することがいかに大変か、今まさに痛感しているところです。この当たり前の便利さを、いつまでも市民の皆さんに提供出来るよう精一杯業務に取り組んでまいります。

